

東京

朝日新聞
2011.6.22
朝刊
東京版

「リ・ファッション」エコでおしゃれに

斬新な組み合わせ

ウェブ・店頭で投票



コンテストの出品作品と鈴木純子さん。右奥はスーツとライシャツを、中央奥はワンピースとデニムジャケットを、左奥は着物を再利用してつくった中野区中野2丁目

いらなくなった衣類の生地から新たにつくった服のできればを競う「リ・ファッションコンテスト」が開かれている。現在進行しているウェブ投票に加え、24日からは「新宿マルイ アネックス」(新宿区新宿3丁目)「朝日新聞 朝刊 東京版」を展示した上での店頭投票も実施。「リ・ファッション」とおしゃれを両立させようという取り組みだ。

いいものを長く愛用しようという「リ・ファッション」の考え方を提唱する「日本リ・ファッション協会」(中野区)が企画した。「手持ちの衣類を2着以上使う」「素材をいかしてつくる」などの条件のも

と、1次のデザイン審査には25点の応募があった。通過した17点が実際につくられ、投票にかけられている。

色とりどりのネクタイを編み込んでカラフルに仕上げたデニムジャケット、男性用のスーツとワイシャツを縫い合わせて出来上がった女性用のワンピース……。投票を受け付けている作品は、組み合わせの妙で斬新に生まれ変わったものばかりだ。

浴衣を素材にした部屋着、フラガールをイメージして着物を手直したアロハ風の衣装など、節電の中で涼しく過ごすことを意識した作品も多い。投票は店頭が28日、ウェブは30日まで。秋にはファッションショウも予定している。同協会で代表理事を務める鈴木純子さんは「衣食住、すべての面で大量消費している今の生活様式を見直すきっかけになったらうれしい」と話す。

ウェブでの投票は同協会ホームページ(<http://www.refashion.jp>)から。メールアドレスの登録が必要。(仲田一平)